



地域学校協働本部だより

令和5年1月10日発行
港区立赤羽小学校 校長
地域コーディネーター
地域学校協働本部担当

NO.12
中村 美奈子
石川 啓子
月井 洋次
見目 純一
大谷 俊貴

1月の玄関装飾

新年あけましておめでとうございます。いよいよ2023年が始まりました。新年といえば、書き初めです。子供たちも宿題で書き初め練習を頑張ったことと思います。学校では新学期が始まってすぐ、書き初め大会を行います。集中して美しい字が書けるとですね。



さて、1月の玄関装飾は新年にふさわしい門松や、今年の干支のうさぎなどです。そこで十二支の話を紹介いたします。

1. 山のとっぺんに楽しいことが大好きな神様がいました。『元日に集まった12匹の動物を1年ずつ王様にする』というアイデアを思いつきました。動物たちも王様になれると聞いて大興奮!しかし、猫だけはねずみに嘘の日にちを教えられてしまいました。
2. 大晦日の日から牛は出発し、他の動物たちも、思い思いに出発して山を目指します。そんな中、ねずみは牛の背中にのっていたのです。そしてゴール直前、牛の背中から飛び降り、ねずみは一位に、牛は二位になったのです。こうして、十二支の干支の順番が決まり、神様と楽しく新年を祝いました。
3. 次の日、猫は出発しようとして、途中でリタイアしたたぬきに、日にちが違うことを教えてもらいました。
4. 猫は怒り、それからというもの、今でもねずみを追いかけるようになったといわれています。また、二度と寝坊しないように、顔を洗うクセがついたそうです。

これを聞くと、ねずみは「ズルい」ですね。でもよく言えば、牛が1番になるという先見の明があったのかもしれません。「小さな自分がどうしたら大きな動物の仲間入りができるか」考える力は、生きていくうえに大切かもしれません。猫も自分で確かめなかったところが残念な結果になりました。情報を見極める力は大切ですね。

さて、今年度も残り3カ月です。新しい学年になる期待とともに、今の校舎があと3カ月しか使われないと考えると寂しい気持ちもします。残り3カ月を大切に過ごしていきましょう。

※「玄関装飾」に協力していただける方を募集しています。ご興味のある方は、副校長又は地域学校担当、見目・大谷までお電話ください。